

# 概要

**背景** 微分方程式の基礎的な理解を深める中で、初期値問題の一意性に関心を持った。

**目的** 完備性を利用し大域的な解の一意性を証明する。

**主定理** 連続関数空間  $C(I; \mathbb{R})$  において、Picard の逐次近似法で初期値問題の解の存在と一意性を示す。

**方法** 積分作用素の連続性、関数空間の完備性を用い、積分方程式を解く逐次